

サーキット・ライダー 2008年 6月号

サーキット・ライダーの伝統

それから、イエスは付近の村々を巡り歩いてお教えになった。そして、十二人を呼び寄せ、二人ずつ組にして遣わすことにされた。その際、汚れた霊に対する権能を授け、旅には杖一本のほか何も持たず、パンも、袋も、また帯の中には金も持たず、ただ履物は履くように、そして「下着は二枚着てはならない」と命じられた。また、こうも言われた。「どこでも、ある家に入ったら、その土地から旅立つときまで、その家にとどまりなさい。しかし、あなたがたを迎えいれず、あなたがたに耳を傾けようとしないう所があったら、そこを出て行くとき、彼らへの証しとして足の裏の埃を払い落としなさい。」十二人は出かけて行って、悔い改めさせるために宣教した。そして、多くの悪霊を追い出し、油を塗って多くの病人をいやした。

マルコ 6：6-13.

この6月でパークリッジに赴任してきて13年目が終わります。前身のリトル・フォールズ合同メソジスト教会の日本語伝道から数えると17年になりますが、アメリカ人の教会に牧師として派遣されたのはパークリッジが初めてでした。毎週英語で説教し、ニュースレターや聖書研究会も英語することは英語を母国語としているアメリカ人牧師には当たり前ですが、私には大きなチャレンジでした。勿論、今でも決して英語が上手いとは言えませんが、曲がりなりにもここまでやってこれたのはアメリカ人だけでなく日本人の教会員も含め、信仰に篤く、思いやりに満ちた人々に囲まれ助けられてきたからです。そのことをまず感謝したいと思います。皆様どうもありがとうございました。

パークリッジはディーコンという補教師の按手礼を受けて赴任しましたが、2年後、正教師エルダの按手を受け、90周年記念、礼拝堂の改築、チャペルのリフォーム、メモリアル・ガーデン造園、自分たちも含め幾つかの結婚式と多くの葬儀、リサイタル、料理伝道、キャンプ伝道、ハンドベル聖歌隊の立ち上げなど等多くの伝道行事を教会員と共にすることができました。また日本語ミニストリーでは多くはありませんでしたが、アメリカ人、日本人幾人もの人の洗礼式、献身礼をさせていただき喜びも与えられました。そのパークリッジともいよいよお別れの時がきました。普通メソジストの牧師たちが教会を移動する平均年は6~7年です。その意味でも長くこの教会にお仕えできたことは幸せでした。しかし流石に新天地に赴く時がきました。この教会には新しい牧師、新しい血、新しいビジョンが必要だからです。また私も一箇所で安穩と過ごしこのまま歳月を重ねるのではなく、牧会伝道の為にも、自分の成長の為にも新たな歩みの必要性を一昨年あたりから感じ始めていました。それを今年まで留めたのは勿論神の御心でしょうけれども、優しい教会員との交わりでした。

パークリッジ合同メソジスト教会は来年100周年を迎えます。その意味でも実は私の中で昨年移動しようと決心したにも拘らず欲が出て、このままあと数年いてパークリッジの100周年をお祝いしたい、と一時期は思いました。しかしあの偉大なイスラエルの預言者であり指導者であったモーセでさえ、約束の地に入ることはできませんでした。彼は目前で天に召され後をヨシュアに託しました。であるなら私ごときが100周年を目前に移動しても、それが何であろう。私には与えられた幾つかのビジョンがあり、ここ数年それができていないというジレンマがある。例えばそのビジョンとは教会学校やユース、キャンプでもっと青少年伝道をすること、大学院での美術と宗教の学びを終え、一般の人にもっとキリスト教美術の面白さを知っていただくこと、また高齢化の進むアメリカ、日本の社会で役立つようチャプレンの研修をあと2期修め、訪問伝道、カウンセリングをする等等です。それらを心からするためにはやはり新しい環境で心も魂もリフレッシュしなければなりません。

色々なことが心を過ぎりましたが5月末の教団のニュージャージー教区年次総会で移動の辞令が正式に下りて今はホッとしています。やはり信仰者の歩みは「先のことを憂えず全てを委ねる」これに尽きます。さて新しい地 **Bergenfield** はどういう所かと言いますと、これまでの白人が90%以上の町の雰囲気から一転、40~50%がフィリピン系移民、20%がカリブ系の黒人、20%が白人、あとフィリピン人以外のアジア人韓国人や中国人、インド人、ベトナム人などで、異人種異文化の入り混じった町です。そこに日本人である私が行くというのも何やら隠れた意図、御心があるように思えてなりません。私の前の牧師はインド系移民、その前はウエスト・インディアンというカリブの島から来た牧師でした。ある意味ではこのように他民族、多文化の教会はこれからのアメリカの教会の一つの方向性を示しているように思います。そこでやらせていただけるのだから、これは大きな恵です。

日本語伝道も教区長から「是非続けなさい。」と励ましの言葉を頂きました。これまで両方やってきて「どっちつかずになっているのでは・・・」と悩んだ時期もありましたが、合同メソジスト教団のNJ教区では日本人牧師は私しかいないことを思えば、やはりメソジスト伝道の精神を失ってはいけないと思ひ当たりました。アメリカの独立前後、メソジストの牧師、イギリスからの宣教師たちは馬に乗って、町々、村々を巡回伝道しました。車や飛行機の無い時代に創始者のジョン・ウエスレーは多い年には8000キロを馬で回り伝道しました。マルコの引用からも分かりますが、イエス様と弟子たちも伝道して回りました。しかも彼らは持ち物を何も持たずに。今日の牧師の移動はそれとはかなり違い、最低限の生活用具を持って引越します。私も28年前にアメリカに来た時は大きなスーツケース一つと小さなバッグだけでしたが、今は生活のしがらみの中で色々物が増えてしまいました。

新しい牧師館に落ち着き、新しい教会に慣れるまでしばしの間、日本語礼拝は夏休みを頂きますが、できたら10月くらいからまた **Bergenfield** でサーキット・ライダーの精神で皆様にお目にかかりたいと思います。これまで長い間、お祈り、交わり、献金など様々な形でご支援下さり本当にありがとうございました。どうぞ良い夏をお過ごし下さい。God Bless You! 吉松 純

パークリッジでの礼拝、Jr. 教会（日曜学校）は6月22日で終了
します。バーゲンフィールドでの日本語礼拝は10月の予定です。

- 6月 1日：礼拝、聖餐式、Jr. 教会：本の整理
- 8日：礼拝、Jr. 教会：シャボン玉で遊ぼう
- 15日：午前10時より、教会メモリアル・ガーデンにて父の日野外合同礼拝、持ち寄りであ
ランチ。通常の日本語礼拝はありません。ご了承下さい。
- 22日：礼拝、Jr. 教会：閉会のBBQ会食

行事予定と報告

- * 毎週木曜日、午後7時：聖歌隊（英語）。英語が苦手でも讃美できます。どなたも歓迎。
- * ユース（中高生会、英語）は第二の午前9時。

お知らせ

*6月15日の聖日礼拝は父の日でアメリカ人、インド人と教会のメモリアル・ガーデンにて合同礼拝
を**午前10時**から持ちます。また礼拝後一品持ち寄りでピクニック・ランチがあります。どうぞご参
加下さい。尚、日本語礼拝はありません。ご了承下さい。

*6月21日（土）、午後6時よりアメリカ人の教会員のご厚意で吉松牧師夫妻の送別会が持たれます。
持ち寄りの会ですが、日本語ミニストリーも招かれています。お時間がありましたらどうぞお出かけ
下さい。

*6月22日（日）、パークリッジで最後の日本語礼拝を持ちます。礼拝後、日本語礼拝閉会の食事会
をします。持ち寄りBBQです。どうぞご参加下さい。

*吉松牧師は7月1日付けでBergenfieldのThe Church of the Good Shepherd UMCに赴任します。
これまで日本語ミニストリーに関わり、支えて下さいました全ての方にお礼を申し上げます。本当に
ありがとうございました。

*日本語ミニストリーに関しましてはBergenfieldではしばらくアメリカ人の会衆と話し合い様子を見
て、夏の間準備期間を置いて10月くらいに新しく始められたらと願っております。皆様どうぞ引
き続き日本語ミニストリーの為にお祈り下さい。

御協力お願い致します。献金のあて先はUMC-JAとし、寄付のあて先をNoteに記してください。

- *合同修養会（ファミリー・キャンプ）とサマーキャンプの為
- *ハーベスト・タイム放映の為、献金、お祈りのご協力をお願いいたします。
- *消印のついた切手の周り1センチの余白を残して切り取って下さい。切手は日本キリスト教海外医
療協力会（JOC S）に送ります。JOC S海外に医療関係者を送ると共に医療関係者の育成をし
ています。
- *ケニヤの恵まれない子供達やエイズ患者さん為に特別献金をしています。ご協力下さい。
- *パターンソンのSt. Philip伝道と社会福祉団体CUMAC/ECHOの為に。どちらもメソ
ジスト教団に属し、貧しい人達の為の炊き出しと路傍伝道をしています。

新しい連絡先：The Church of the Good Shepherd, UMC. 326 New Bridge Rd. Bergenfield, NJ 07621

英語オフィス (201) 385-4100

ホームページ：<http://umc-japan.org>

英語ホームページ：<http://umcpr.org>

吉松牧師 junyoshim@optonline.net

代表役員：松尾孝恵姉 Takael7A@aol.com

教会学校担当：吉松 泉姉 izumi.yoshimatsu@gmail.com

感謝を込めて・・・